

法人名：

公益財団法人 秋田県木材加工推進機構

設立年月日

平成4年9月17日

1 法人の概要

代表者職氏名	代表理事 秋元 秀樹	基本財産等	450,824千円	県出資等額及び比率	300,000千円	(66.5%)	所管部課名	農林水産部林業木材産業課					
設立目的	木材高度加工研究所の研究成果を木材業界へ円滑に移転するための機関として、秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会等の出捐により平成4年9月17日設立。平成7年4月研究所開所時に、同研究所内に併設。平成25年4月公益財団法人に移行。												
事業概要	①情報収集提供事業 ②技術指導・移転事業 ③啓発研修事業 ④依頼試験等事業												
関連法令、県計画	新秋田元気創造プラン、秋田県林業・木材産業構造改革プログラム												
役員数 (R6.7.1現在)	理事		監事		評議員		計		職員数 (R6.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤			2(1)	4	6(1)
	1	6		2		3	1	11		※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。			

※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧（内数）で表示。

2 法人の行動計画(令和4～7年度)

県間与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施
目標	○公益的事業の安定実施に努めるとともに、安定的な経営を継続するため、収益事業（依頼試験）の拡充を図る。 【目標】収益事業等会計の事業収益額（千円） R4年度：7,280、R5年度：7,384、R6年度：7,592、R7年度：7,800				
取組	○以下の公益的事業を着実に実施する。 技術指導・移転事業（企業訪問、技術相談対応、現地指導等） 情報収集提供事業（情報紙発行、ホームページの運用等） 啓発研修事業（講演会、技術研修会の開催等） 【目標】法人の中核業務である技術指導・移転事業の企業訪問：70件 ○収益事業等会計の事業収益額目標を達成するため、企業訪問及びホームページ等による依頼試験のPRを強化するとともに、企業等のニーズに応えられる信頼の高い試験が行えるよう人材のスキルアップを図り、依頼試験件数を確保する。 【目標】依頼試験の目安（件） R4年度：70、R5年度：71、R6年度：73、R7年度：75				

3 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度
経常収益	45,020	41,294
基本財産・特定資産運用益	10,093	10,096
受取会費・受取寄附金	5	5
受託事業収益	16,055	15,131
自主事業収益	14,044	11,239
受取補助金・受取負担金	4,823	4,823
その他の収益		
経常費用	42,924	39,868
事業費	40,352	37,742
管理費	2,572	2,126
人件費(事業費分含む)	20,639	21,892
当期経常増減額	2,096	1,426
経常外収益		
経常外費用	82	82
当期経常外増減額	△ 82	△ 82
当期一般正味財産増減額	2,014	1,344
当期指定正味財産増減額	△ 66,932	8,642
当期正味財産増減額合計	△ 64,918	9,986

②貸借対照表

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度
流動資産	23,856	26,459
固定資産	558,564	566,745
資産計	582,420	593,204
流動負債	1,367	2,165
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	1,367	2,165
指定正味財産	442,182	450,824
うち基本財産充当額	442,182	450,824
一般正味財産	138,871	140,215
うち基本財産充当額		
正味財産計	581,053	591,039
負債・正味財産計	582,420	593,204

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く)

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和5年度	支出目的等
年間支出			
年度末残高			

<主な経営指標>

項 目	令和4年度	令和5年度	増減※
経常収支比率 (経常収益÷経常費用)	104.9%	103.6%	△1.3
流動比率 (流動資産÷流動負債)	1745.1%	1222.1%	△523.0
自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)	99.8%	99.6%	△0.1
有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

<退職給与引当状況(単位:千円)>

要支給額	引当額	引当率(%)
0	0	—

※要支給職員なし。

法人名：

公益財団法人 秋田県木材加工推進機構

I 自己評価		
1 行動計画における目標及び取組の達成状況		2 経営状況
【令和5年度実績】 ○収益事業等会計の事業収益額：11,239千円（前年度：14,044千円、目標：7,384千円） ○技術指導・移転事業の企業訪問数：69件（前年度：76件、目標：70件） ○依頼試験件数：58件（前年度：63件、目標：71件）		【令和5年度実績】 経常収益：41,294千円（前年度：45,020千円） 経常費用：39,868千円（前年度：42,924千円） 経常増減額：1,426千円（前年度：2,096千円）
【自己評価】 ○企業訪問については、関連企業数の減少等により、目標を若干下回ったものの、訪問により得られた情報・要望等には必要に応じ木材高度加工研究所内や関係機関へ提供し情報の共有を図った。 ○依頼試験については、令和5年度はウッドショックの終焉に伴う全国的な木材需要の減退により件数は目標を下回ったが、収益額については、秋田県立大学からの耐火試験など、比較的高単価な試験の依頼があり、予想したほどの落ち込みはなく、目標を上回ることができた。 ○企業訪問数や依頼試験数に関しては、ホームページや情報紙でのPRや現顧客との情報交換を密にするなど、目標の達成に向けて取組を強化してまいりたい。	評価	B
		【自己評価】 ○県からの受託額及び依頼試験の収益は昨年度より減少したが、経費削減に努めた結果、経常収支は1,426千円と5年連続の黒字となった。
		評価
		A
II 所管課評価		
1 行動計画における目標及び取組の達成状況		2 経営状況
【所管課評価】 ○行動計画に掲げた目標である依頼試験の事業収益は、計画に対して152%と目標を大きく上回っており、これまでの企業訪問やホームページ等によるPR強化が実績に確実に結びついている。 ○今後は、企業訪問数や依頼試験件数について、目標達成に向けた取組を推し進め、引き続き公益的事業の安定実施に努めていただきたい。		【所管課評価】 ○経常ベースで単年度黒字であり、財務3基準も満たしている。基本財産の取り崩しや県からの財政的な支援も受けていないため、経営状況は良好である。
		評価
		A
III 委員会評価		
総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント	
A	○一部の行動計画の目標については未達成となっているところ、収益事業等会計の事業収益額は目標値を上回っているほか、経費削減等に努めた結果、5期連続で黒字を達成していることから、安定した経営状況であると評価できる。	
【委員からの提言】		
○公益的事業の安定実施の観点から、行動計画の目標を達成できなかった企業指導・移転事業の企業訪問数に加えて、情報収集提供事業や啓発研修事業に関しても目標値の設定が必要と考えられる。 ○全国的な木材需要の減退の中において、企業との共同開発による木材加工のイノベーションの創出を期待する。		
委員会評価を踏まえた対応方針		
法人の対応方針		所管課の対応方針
○情報収集提供事業や啓発研修事業の目標値設定については、次期計画作成に合わせて検討する。 ○的確な顧客ニーズの把握による事業量の確保と経費節減に努め、安定した経営を維持する。		○令和8年度以降の次期行動計画に向けて、安定的に公益的事業を進める観点から、目標値の設定について検討を進めるとともに、研究成果の企業移転や共同開発がより促進されるよう法人に働きかけていく。